

点検様式3-1

定期点検記録  
(防火設備)  
(第一面)

建築基準法第12条第4項の規定による定期点検の結果は以下のとおりです。この記録に記載の事項は事実と相違ありません。

令和 年 月 日

点検者氏名 印

---

【1.対象建築物】

- 【イ.所在地】
- 【ロ.名称のフリガナ】
- 【ハ.名称】
- 【ニ.用途】

---

【2.財産管理者】

- 【イ.氏名のフリガナ】
- 【ロ.氏名】
- 【ハ.郵便番号】
- 【ニ.住所】
- 【ホ.電話番号】

---

【3.点検による指摘の概要】

- 【イ.指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし
  - 【ロ.指摘の概要】
  - 【ハ.改善予定の有無】  有 ( 令和 年 月に改善予定 )  無
  - 【ニ.その他の特記事項】
-

防火設備の状況等

【 1 . 建築物の概要 】

- 【 イ . 階 数 】 地上 階 地下 階  
【 ロ . 建築面積 】 m<sup>2</sup>  
【 ハ . 延べ面積 】 m<sup>2</sup>  
【 ニ . 点検対象防火設備 】 防火扉 防火シャッター  
耐火クロススクリーン ドレンチャー

【 2 . 確認済証交付年月日等 】

- 【 イ . 確認済証交付年月日 】 昭和・令和 年 月 日 第 号  
【 ロ . 確認済証交付者 】 建築主事 指定確認検査機関 ( 号 )  
【 ハ . 検査済証交付年月日 】 昭和・令和 年 月 日 第 号  
【 ニ . 検査済証交付者 】 建築主事 指定確認検査機関 ( 号 )

【 3 . 検査日等 】

- 【 イ . 今回の点検 】 令和 年 月 日実施  
【 ロ . 前回の点検 】 実施 ( 令和 年 月 日報告 ) 未実施  
【 ハ . 前回の点検に関する書類の写し 】 有 無

【 4 . 防火設備の点検者 】

- ( 代表となる点検者 )  
【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
防火設備検査員  
【 ロ . 氏名のフリガナ 】  
【 ハ . 氏 名 】  
【 ニ . 所属又は勤務先 】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号  
【 ホ . 郵便番号 】  
【 ヘ . 所在地 】  
【 ト . 電話番号 】  
( その他の検査者 )  
【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
防火設備検査員  
【 ロ . 氏名のフリガナ 】  
【 ハ . 氏 名 】  
【 ニ . 所属又は勤務先 】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号  
【 ホ . 郵便番号 】  
【 ヘ . 所在地 】  
【 ト . 電話番号 】

【 5 . 防火設備の概要 】

- 【 イ . 避難安全検証法等の適用 】 階避難安全検証法 ( 階 ) 全館避難安全検証法  
その他 ( ) 適用なし  
【 ロ . 防火設備 】 防火扉 ( 枚 ) 防火シャッター ( 枚 )  
耐火クロススクリーン ( 枚 ) ドレンチャー ( 台 )  
その他 ( 台 )

【 6 . 防火設備の点検の状況 】

- 【 イ . 指摘の内容 】 要是正の指摘あり ( 既存不適格 ) 指摘なし  
【 ロ . 指摘の概要 】  
【 ハ . 改善予定の有無 】 有 ( 令和 年 月に改善予定 ) 無

【 7 . 防火設備の不具合の発生状況 】

- 【 イ . 不 具 合 】 有 無  
【 ロ . 不具合記録 】 有 無  
【 ハ . 改善の状況 】 実施済 改善予定 ( 令和 年 月に改善予定 ) 予定なし

【 8 . 備 考 】

防火設備に係る不具合の状況

不具合等を把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

点検記録表  
(防火扉)

点検の実施日

点検者	氏名			所属又は勤務先	資格
	代表となる点検者				
	その他の点検者				

建物基本情報

建物名称(棟名)		棟番号	
建物構造		建物階数	
建物延べ面積		竣工年月	
備考			

番号	点検項目等		点検結果			備考
			指摘なし	要是正		
				既	存	不適格
<b>1 防火扉</b>						
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況			
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況			
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況			
(4)		危害防止装置	作動の状況			
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置			
(6)			感知の状況			
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況			
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況			
(9)			結線接続の状況			
(10)			接地の状況			
(11)			予備電源への切り替えの状況			
(12)	連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況				
(13)		容量の状況				
(14)	自動閉鎖装置	設置の状況				
(15)		再ロック防止機構の作動の状況				
(16)	総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況			
(17)			防火区画の形成の状況			
<b>2 上記以外の点検項目等</b>						

特記事項

番号	点検項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月

(注意)

- [1] この書類は、建築物ごとに作成してください。
- [2] 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- [3] 「点検者」欄は、定期点検記録に記入した点検者について記入し、所属又は勤務先等を記入してください。当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
- [4] 該当しない点検項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「備考」欄までを取消線で抹消してください。
- [5] 「点検結果」欄は、告示別表(イ)欄に掲げる各点検項目ごとに記入してください。
- [6] 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、告示別表(イ)欄に掲げる検査事項について同表(ロ)欄に掲げる検査事項のいずれかが同表(ニ)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- [7] 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- [8] 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- [9] 点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合であっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目の番号、点検項目を点検様式3-4の様式に従い記入し、「特記事項」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を( )書きで記入してください。
- [10] 各階平面図を様式3-3に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、様式3-3は別記様式3-2-2、別記様式3-2-3又は別記様式3-2-4の各々の別添様式3-3に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- [11] 要是正とされた点検項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添様式3-4に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添様式3-3に明記してください。

点検記録表  
(防火シャッター)

点検の実施日

点検者		氏名	所属又は勤務先	資格
	代表となる点検者			
	その他の点検者			

建物基本情報

建物名称(棟名)		棟番号	
建物構造		建物階数	
建物延べ面積		竣工年月	
備考			

番号	点検項目等	点検結果			備考
		指摘なし	要是正	既存不適格	
<b>1 防火シャッター</b>					
(1)	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況			
(2)	駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況 ※			
(3)		スプロケットの設置の状況 ※			
(4)		軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況 ※			
(5)		ローラチェーン又はワイヤロープの劣化及び損傷の状況			
(6)	カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況			
(7)		吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況			
(8)	ケース	劣化及び損傷の状況			
(9)	まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況			
(10)	危害防止装置	危害防止用連動中継器の配線の状況			
(11)		危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況			
(12)		危害防止装置用予備電源の容量の状況			
(13)		座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況			
(14)		作動の状況			
(15)	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置			
(16)		感知の状況			
(17)	温度ヒューズ装置	設置の状況			
(18)	連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況			
(19)		結線接続の状況			
(20)		接地の状況			
(21)		予備電源への切り替えの状況			
(22)	連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況			
(23)		容量の状況			
(24)	自動閉鎖装置	設置の状況			
(25)	手動閉鎖装置	設置の状況			
(26)	総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況			
(27)		防火区画の形成の状況			

**2 上記以外の点検項目等**


特記事項

番号	点検項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月

(注意)

- [1] この書類は、建築物ごとに作成してください。
- [2] 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- [3] 「点検者」欄は、定期点検記録に記入した点検者について記入し、所属又は勤務先等を記入してください。当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
- [4] 該当しない点検項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「備考」欄までを取消線で抹消してください。
- [5] 「点検結果」欄は、告示別表(い)欄に掲げる各点検項目ごとに記入してください。
- [6] 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、告示別表(い)欄に掲げる検査事項について同表(ろ)欄に掲げる検査事項のいずれかが同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- [7] 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- [8] 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- [9] ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- [10] 点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目の番号、点検項目を点検様式3-4の様式に従い記入し、「特記事項」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を( )書きで記入してください。
- [11] 各階平面図を様式3-3に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、様式3-3は別記様式3-2-1、別記様式3-2-3又は別記様式3-2-4の各々の別添様式3-3に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- [12] 要是正とされた点検項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添様式3-4に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添様式3-3に明記してください。

点検記録表  
(耐火クロススクリーン)

点検の実施日

点検者		氏名	所属又は勤務先	資格
	代表となる点検者			
	その他の点検者			

建物基本情報

建物名称(棟名)		棟番号	
建物構造		建物階数	
建物延べ面積		竣工年月	
備考			

番号	点検項目等	点検結果			備考	
		指摘なし	要是正	既存不適格		
<b>1 耐火クロススクリーン</b>						
(1)	耐火クロススクリーン	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況			
(2)		駆動装置	ローラチェーンの劣化及び損傷の状況			
(3)		カーテン部	耐火クロス及び座板の劣化及び損傷の状況			
(4)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況			
(5)		ケース	劣化及び損傷の状況			
(6)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況			
(7)		危害防止装置	危害防止用連動中継器の配線の状況			
(8)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況			
(9)			危害防止装置用予備電源の容量の状況			
(10)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況			
(11)			作動の状況			
(12)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置			
(13)			感知の状況			
(14)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況			
(15)			結線接続の状況			
(16)			接地の状況			
(17)			予備電源への切り替えの状況			
(18)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況			
(19)			容量の状況			
(20)		自動閉鎖装置	設置の状況			
(21)		手動閉鎖装置	設置の状況			
(22)	総合的な作動の状況		耐火クロススクリーンの閉鎖の状況			
(23)			防火区画の形成の状況			
<b>2 上記以外の点検項目等</b>						
特記事項						
番号	点検項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月		

(注意)

- [1] この書類は、建築物ごとに作成してください。
- [2] 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- [3] 「点検者」欄は、定期点検記録に記入した点検者について記入し、所属又は勤務先等を記入してください。当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
- [4] 該当しない点検項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「備考」欄までを取消線で抹消してください。
- [5] 「点検結果」欄は、告示別表（い）欄に掲げる各点検項目ごとに記入してください。
- [6] 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、告示別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- [7] 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- [8] 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- [9] 点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目の番号、点検項目を点検様式3-4の様式に従い記入し、「特記事項」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- [10] 各階平面図を様式3-3に従い添付し、耐火クロススクリーンの設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、様式3-3は別記様式3-2-1、別記様式3-2-2又は別記様式3-2-4の各々の別添様式3-3に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- [11] 要是正とされた点検項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添様式3-4に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添様式3-3に明記してください。



点検記録表  
(ドレンチャーその他の水幕を形成する防火設備)

点検の実施日

点検者		氏名	所属又は勤務先	資格
	代表となる点検者			
	その他の点検者			

建物基本情報

建物名称(棟名)		棟番号	
建物構造		建物階数	
建物延べ面積		竣工年月	
備考			

番号	点検項目等	点検結果			備考
		指摘なし	要是正	既存不適格	
<b>1 ドレンチャーその他の水幕を形成する防火設備</b>					
(1)	設置場所の周囲状況	作動の障害となる物品の放置の状況			
(2)	散水ヘッド	散水ヘッドの設置の状況			
(3)	開閉弁	開閉弁の状況			
(4)	排水設備	排水の状況			
(5)	水源	貯水槽の劣化及び損傷、水質並びに水量の状況			
(6)		給水装置の状況			
(7)	加圧送水装置	ポンプ制御盤のスイッチ類及び表示灯の状況			
(8)		結線接続の状況			
(9)		接地の状況			
(10)		ポンプ及び電動機の状況			
(11)		加圧送水装置用予備電源への切り替えの状況			
(12)		加圧送水装置用予備電源の劣化及び損傷の状況			
(13)		加圧送水装置用予備電源の容量の状況			
(14)		圧力計、呼水槽、起動用圧カスイッチ等の付属装置の状況			
(15)	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置			
(16)		感知の状況			
(17)	制御盤	スイッチ類及び表示灯の状況			
(18)		結線接続の状況			
(19)		接地の状況			
(20)		予備電源への切り替えの状況			
(21)	連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況			
(22)		容量の状況			
(23)	自動作動装置	設置の状況			
(24)	手動作動装置	設置の状況			
(25)	総合的な作動の状況	ドレンチャー等の作動の状況			
(26)		防火区画の形成の状況			
<b>2 上記以外の点検項目等</b>					

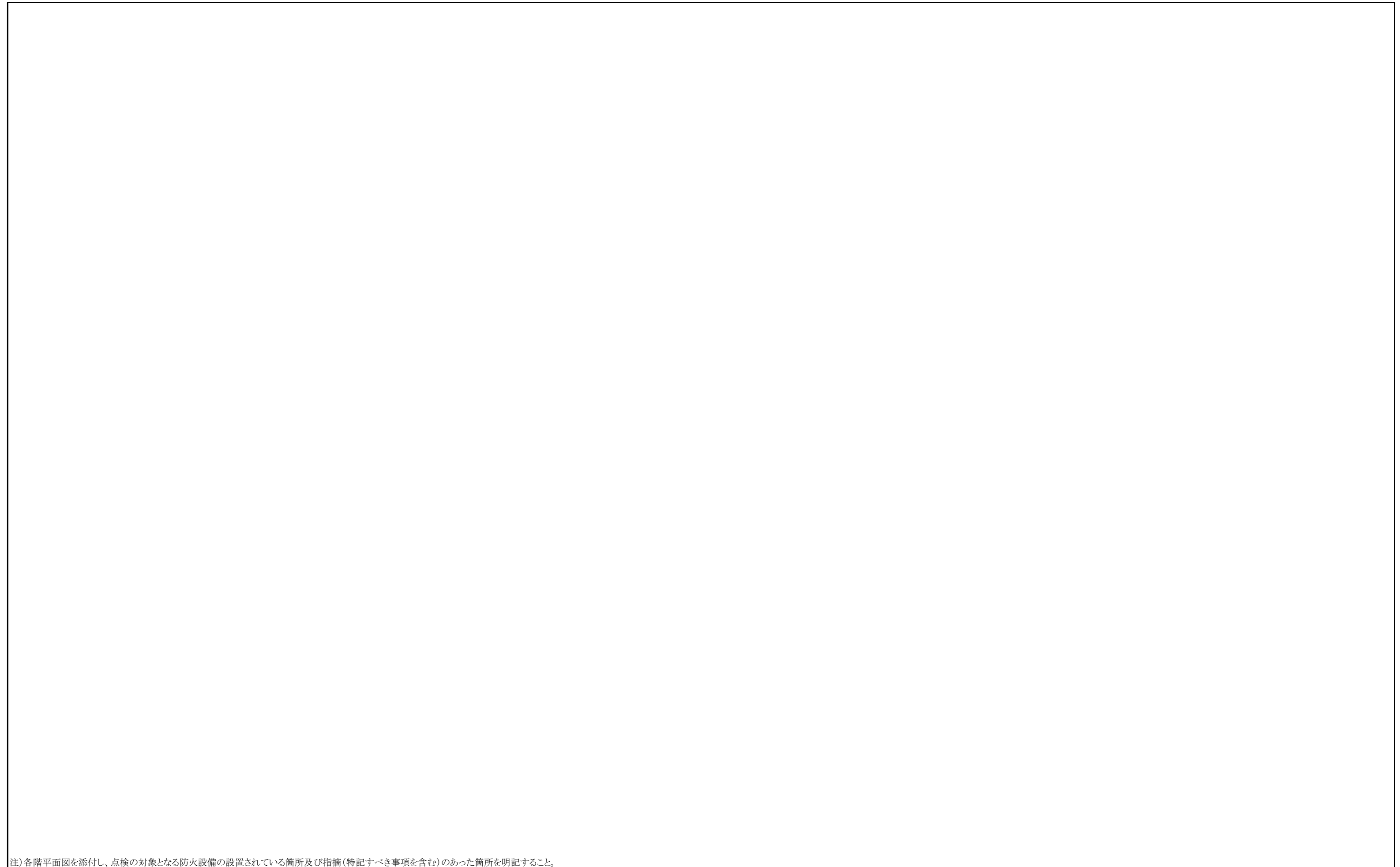
特記事項

番号	点検項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月

(注意)

- [1] この書類は、建築物ごとに作成してください。
- [2] 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- [3] 「点検者」欄は、定期点検記録に記入した点検者について記入し、所属又は勤務先等を記入してください。当該防火設備の点検を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。
- [4] 該当しない点検項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「備考」欄までを取消線で抹消してください。
- [5] 「点検結果」欄は、告示別表（い）欄に掲げる各点検項目ごとに記入してください。
- [6] 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、告示別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- [7] 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- [8] 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- [9] 点検の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目の番号、点検項目を点検様式3-4の様式に従い記入し、「特記事項」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- [10] 各階平面図を様式3-3に従い添付し、ドレンチャ―その他の水幕を形成する防火設備の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、様式3-3は別記様式3-2-1、別記様式3-2-2又は別記様式3-2-3の各々の別添様式3-3に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- [11] 要是正とされた点検項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添様式3-4に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添様式3-3に明記してください。

点検結果図（防火設備）



注) 各階平面図を添付し、点検の対象となる防火設備の設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記すること。

関係写真  
(防火設備)

部位	番号	点検項目等	点検結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
写真貼付			特記事項

部位	番号	点検項目等	点検結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
写真貼付			特記事項

(注意)

- [1] この書類は、点検の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- [2] 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- [3] 「部位」欄の「番号」、「点検項目等」は、それぞれ点検様式3-2-1～3-2-4の番号、点検項目等に対応したものを記入してください。
- [4] 「点検結果」欄は、調査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- [5] 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。